



# 地域で育てよう 子ども達の未来



## 佐倉小学校ガードボランティア「ひまわり会」

佐倉小学校ガードボランティア「ひまわり会」  
発足：平成 16 年(2004 年) 5 月  
活動内容：見守り活動  
活動日：小学校登校日  
活動場所：佐倉小学校付近 9 か所

### ～見守り活動の始まりと取り組み～

佐倉小学校でのガードボランティアを始めたキッカケは、他校における不審者等の大きな事件（平成 13 年 6 月 8 日児童殺傷事件）があった事です。教育委員会から「地域力を活用した巡視」の綿密化が示され、地域で子どもを守る取り組みが求められました。佐倉小学校では平成 16 年 5 月より市民カレッジ生(40 名)が交代で校内巡視を始めました。メンバーの大半が佐倉小学校区外でしたので 1 年後には 4 名になってしまいガード体制が危ぶまれる状況となりました。



### ～地域との連携と見守り体制の強化～

佐倉小学校区域の住民に募集を行い、現在は 19 名で佐倉小学校へ通学する子ども達の登下校を 9 か所で見守っています。ひまわり会の会員は高齢者中心ですが「地域の子子ども達を温かく見守り、触れ合ってください方」をいつでも募集歓迎します。

今のところ大きな事故、事件も無く子ども達は登下校をしており、朝の挨拶よりも帰りの方が元気に「さようなら」と挨拶してくれます。



学校内に「ひまわり会」の部屋があり、年 4 回の定例会を開催しています。校長先生・教頭先生・PTA の役員の方々と共に、登下校の様子や危険箇所を話し合い改善につなげております。また、佐倉市教育委員会主催のアイアイプロジェクトフォーラムにも参加し、活動の質を高め地域との連携を深めています。

### ～子ども達との交流と今後の展望～

学校からは、運動会などの行事に招待いただいたり、2 月には「ひまわり会」の皆に感謝集会を開催していただきます。子ども達から心のもったお手紙や手づくりの品を頂戴し活動の励みになっています。

この温かい気持ちに応えるべく「ひまわり会」としても子ども達がこれからも元気に登下校できるよう見守りを続けていきたいと思ひます。



随時会員募集中です！



※アイアイプロジェクト：地域全体で子ども達を育てる環境を充実させることを目的（eye目→安全確保、愛heart→子ども達と地域の皆さんの心の通い合い）

### 6 月 13 日「ひまわり会」定例会に参加しました！

日頃より活動に参加されている方達のお話を聞いて、毎日の活動は大変だなと感じました。毎日活動する登下校通学路で得る情報が、子ども達を守る事につながる大切な仕組みとしての存在意義を感じました。実際に朝早くから活動したり、猛暑の中でもシニアの方達が体調を考慮しながら、やりがいを持って行える地域型の良い活動であり、今後も継承して行ってほしいと思ひます。

「クルクルキッズカフェ（こども食堂）」 吉野 記

## クルクルキッズカフェ(こども食堂)

クルクルキッズカフェ（こども食堂）  
発足：令和 6 年(2024 年)12 月  
活動内容：こども食堂  
活動日：毎月第 2 土曜日 17 時～18 時  
活動場所：佐倉市飯野  
KuRuKuRuCAFE 令和 5 年(2023 年)11 月～

### ～子ども食堂を始めたキッカケ～

カフェの経営は美味しい食事と心地よい雰囲気をお客様に提供するのが役割ですが、それと同時に地域の役割があると感じています。やはり地域の子子ども達、そして子ども達の親御さんに何か支援が出来たらという思いで「こども食堂」を始めました。

毎日繰り返しの食事の支度は大変です。「たまには子ども達と一緒にカフェで食事しよう！」「多少、子どもが騒いでしまっても大丈夫」そんな安心してご飯を食べられる場所を提供できたらと思ひました。



代表の吉野さん

### ～古民家を改装した新しい拠点～

KuRuKuRuCAFE は、佐倉市のランドマークである風車の近くの古民家を自分達で改装。令和 5 年 11 月オープンしました。リユース、リサイクル、循環をテーマに、いらぬグラスを欲しい人へあげる活動や地域の規格外野菜を使った料理を提供するなど、地域に根ざした活動を行っております。

毎月のイベントとして、美味しい物を食べながら語らう会「焚き火会」（第 4 土曜日）によるコミュニティの運営とともに、「クルクルキッズカフェ」（第 2 土曜日）を運営し、近隣家族の皆さまにご利用いただいております。

### ～食事作りの負担を少しでも軽く～

「こども食堂」を始めて気づいたことは、比較的子どもの多いご家庭の方が参加されているように感じたことです。子どもが多ければ、毎回食事のたびに大変な労力がかかります。月に一度ですが、お母さんが食事を作らずに、お腹いっぱいご飯が食べられれば負担も減ります。少しだけですが「クルクルキッズカフェ」に協力出来たら嬉しいです。

### ～地域の優しさに励まされて～

また、ボランティアとしてお手伝い下さる方や、食材のご提供を申し出て頂ける方が沢山いらっしゃる事に心から感謝しております。募金箱にも多くの方が支援してくださり、地域の皆さまの温かさに日々励まされています。



### 6 月 14 日 「クルクルキッズカフェ（こども食堂）」に行ってきました！

右に山林、左に田んぼと田園風景の中にたたずむ古民家カフェに到着。改装したとは思えないぐらいの本格的で素敵な空間で、「こども食堂が月一度だけだなんてもったいない」と思いました。約 40 席ある店内には、開始時間になると子ども達や保護者の方で満席になりました。皆さん和気あいあいと楽しそうにお食事をされていました。私達もカレー、春巻き、サラダ、飲み物を美味しくいただきました。スタッフの皆さんもとても感じよく接してくださり嬉しく思いました。クルクルキッズカフェは誰でも気軽に立ち寄れる場所となっていて、子どもや保護者にとっても、人と人の良いつながりの場となっているのだと思ひます。素敵な場所で心とむ時間を過ごさせていただきました事に感謝です。

佐倉小学校ガードボランティア「ひまわり会」大木 記

ピクトグラム(内閣府の「障がいに関するマーク」から抜粋)  
単純化された図柄で特定の意味を表現する記号です。言葉を使わずに情報を伝えるため、言語の壁を越えたコミュニケーションツールとして活用されています。



目マーク  
聞こえが不自由なことを表すと同時に、聞こえない人・聞こえにくい人への配慮を表すマークです。相手が「聞こえない・聞こえにくい」ことを理解し、コミュニケーションの方法等への配慮（口元を見せゆくり、はっきり話す・筆談で対応する・呼ぶときは傍へ来て目合する・手話や身振りで表すなど）をお願いします。



障害者のための国際シンボルマーク  
障害者が利用できる建物、施設であることを明確に示すための世界共通のシンボルマークです。(注：駐車禁止を免れる、または障害者専用駐車場が優先的に利用できるなどの証明にはなりません)



「白杖 SOS シグナル」普及啓発シンボルマーク  
白杖を頭上 50cm 程度に掲げて SOS のシグナルを示している視覚に障害のある人を見かけたら、進んで声をかけて支援しようというシンボルマークです。進んで声をかけ、困っていることなどを聞き、サポートをお願いします。